

『自分で考え、判断し、行動できる生徒の育成』をめざして～

2025/12/22

SAH×進路大学で学ぶ「経済系」を知る！

学部選びで一步上を行くために！「なんとなく」「消去法で」経済学部を選ぶのはもったいない！大学での経済の学びは、具体的に知ると「楽しそう！」となる。自身の性格・適性に合った分野、将来の仕事が必ずある。でも、知らないと、「よくわからないけど、他にやりたいことがないから経済」となる。「ふわっとなんとなく」と経済を志望している生徒より、「経済系で〇〇をやりたい！」「自分の適性にこの職種がマッチしている！」となった方が、パチッと目標が定まり勉強へのモチベーションも上がるはず。

ここでもう一步踏み込んで、経済学部の学びを知り、経済系で学びたいという前南生を増やす特集を試みる。(編集 教頭)

1. 経済系の学びの中で、「知れば、興味が持てる」分野 8選

☆①どんなことを学ぶの？②卒業後の進路例

「大学はなんとなく経済…」を脱却！

(1) マーケティング

- ①「どうすれば商品が売れるか？」を考え学ぶ。消費者のニーズや行動(なぜあの商品を買うのか？)、流行のキャッチ方法、広告や宣伝の効果的な打ち出し方を分析します。
- ②広告代理店、メーカーの企画・広報、IT企業のサービス開発

(2) マネジメント (経営戦略)

- ①「どうすれば会社が勝ち残れるか？」を考える学問。企業の成長戦略、組織の動かし方、ライバルに差をつけるための戦い方、海外進出の戦略などを学びます。
- ②コンサルタント、メーカー・商社の経営企画、ベンチャー企業の立ち上げ

(3) 商品開発 (応用経済学)

- ①「新しい商品やサービスを社会にどう届け、人々の行動を変えるか？」を考える分野。特に、人々が何を求めているか、新しい技術が市場にどんな影響を与えるか、価格設定をどうするかなど、経済学の理論をビジネスの現場に応用します。
- ②メーカーの研究開発部門、企画・マーケティング職、コンサルタント

(4) 海外戦略 (国際経済学)

- ①「国と国との経済的な関係はどうなっているか？」「日本の企業が海外進出するならどこの地域、国がいいか？」を考える。貿易の仕組みや、円やドルの為替レートの変動理由、途上国の経済成長をどう支援するか、グローバル企業が世界でどう活動すべきかを学びます。
- ②総合商社、外資系企業、国際的な公的機関(JETRO など)、銀行

(5) 組織論・組織運営 (人事・労務)

- ①「どうすればチームや会社が最大限の力を発揮できるか？」を考える学問。社員のモチベーションの上げ方、リーダーシップのあり方、組織のルールや評価制度の設計、人材育成などを学びます。特にリーダーシップを発揮したい人に向いています。
- ②人事・総務部門、コンサルタント、チームリーダー、管理職

(6) データ分析 (計量経済学)

- ①「膨大なデータから、未来や隠れた真実をどう読み解くか？」を学ぶ分野。数学や統計学を用いて、経済のデータ(景気、アンケート結果など)を分析し、理論が正しいかを検証したり、未来を予測したりするスキルを身につけます。
- ②IT企業のデータサイエンティスト、金融機関の市場分析、調査会社、コンサルタント

(7) 経済の公共政策

- ①「社会全体の困りごとを、政府や自治体はどう解決すべきか？」を考える学問。税金や社会保障(年金、医療)、環境対策など、公共の問題に対して、経済学の理論を使って最適な政策を設計・評価する方法を学びます。地域施策を経済的視点から学びたい人向け。
- ②国家公務員・地方公務員、シンクタンク、国際機関

(8) 会計事務 (財務会計・管理会計)

- ①「会社のお金の流れはどうなっているか？」を記録・分析する学問。株主などの外部向けに会社の成績を報告するためのルール(財務会計)や、社内でコスト削減や利益向上に役立てるための分析(管理会計)を学びます。
- ②会計士、税理士、企業の経理・財務部門、金融機関



2 経済系の“どの仕事”に向いているかの「性格」タイプ診断

経済系の様々な職種の中から、代表的な5つの職種を挙げ、それらの業務内容、それぞれに向いている性格(タイプ)を紹介します。

(1) 起業に向いているタイプ ☆①業務のイメージ②向いている性格の特徴

- ①新しいビジネスの立ち上げ、会社の方向性決定、資金調達など。
- ②“ここが狙い目”という目の付けどころをもつセンス、チャレンジ精神旺盛、失敗を恐れない、困難な状況を楽しめる、論理的思考力がある、リスクを取ることを厭わない。

(2) 営業に向いているタイプ

- ①顧客との関係構築、商品の提案、目標達成に向けた行動、交渉など。
- ②コミュニケーション能力が高い、人の話を聞くのが得意、精神的にタフ、前向きでポジティブ、チームで働くのが好き。

(3) 会計・事務の仕事に向いているタイプ

- ①契約書作成、伝票処理、経費精算、データ入力、スケジュール管理など、社内のサポート。
- ②“縁の下の力持ち”タイプ、几帳面で正確な作業が得意、サポートすることに喜びを感じる、計画性がある、マルチタスクをこなせる、数字を扱うのが苦ではない。

(4) 商品開発に向いているタイプ

- ①新商品のアイデア発案、市場調査、試作品のテスト、工場との調整など。
- ②サプライズで人を喜ばせるのが得意、好奇心旺盛で流行に敏感、アイデアを形にするのが好き、深く考えるのが得意、課題を最後まで突き詰める粘り強さ。

(5) 組織運営・統括に向いているタイプ

- ①チームや組織の目標設定、人材育成、リーダーシップの発揮、メンバー間の調整、組織の問題解決、リーダー論など。
- ②「人を巻き込む力・まとめる力・調整力」=リーダーシップがある、公正・公平を重んじる、多様な意見をまとめるのが得意、組織をどう動かすかを考えるのが好き。



縁の下の力持ち

どうですか？自分の適性に合っている、自分のやりたいことに

👉 経済とあなたのマッチングアプリ？

合致した職種はありましたか？例えば、リーダータイプの人は、経済学部で「組織論」を学ぶことで長所・特性を活かせるし、社会に出る時のアドバンテージ（武器）になりますよ！“縁の下の力持ち”タイプでコツコツやるのが得意な人が事務の仕事に興味を持てたら、大学で資格を取ろうという目標ができるはずです！他に、データを扱う職種も「コンピュータやAIに興味がある、それらを使って何かをしたい」人には向いているし、マネジメントもビジョンを持っていたり、作戦を考えることや何かを攻略していくのが好きというタイプには向いている職種です。

3. 経済をテーマにした「探究活動(総合的な探究の時間)」

①地域の活性化を「経済的視点＝経済学部」から考える

前橋の活性化、地域復興、こういった視点で探究に入ると、「地域政策」系(高崎経済大学地域政策学部、千葉大学法政経済学部、宇都宮大学地域デザイン学部など)が大学の進路先として一番マッチするイメージがあります。実践的に地域政策に関わりたければそれでいいと思います。一方で、地域活性化のテーマを「経済的視点」にフォーカスして進めていく(経済学部で学ぶ)ことができます。例えば・・・

- i) 地域活性化「地域資源の経済価値の最大化」 例:観光客を増やすため、「無料の祭り」から「有料の体験型ツアー」に切り替えた場合、収益はどれだけ増えるか？観光客の「価格弾力性」(値段を変えたときに需要がどれだけ変わるか)を分析する。
- ii) 地域復興「復興資金の効果的な使い方」 例:被災地に公的資金を投入する際、「インフラ整備」と「地元企業への融資」のどちらが、より早く、より大きな経済効果(雇用創出、所得向上など)を生むかを、過去の事例データから費用対効果を分析する。
- iii) 少子高齢化問題「労働力不足への経済政策」 例:人手不足を解消するため、「高齢者の再雇用」と「AI・ロボット導入への補助金」のどちらが、社会保障費の負担を軽減できるか、シミュレーションする。

②戦略、ビジョンの分析・類型化

- i) 「No.1企業とNo.2企業の戦略の差異」 例:コンビニ大手シェア 1 位のセブンイレブンと 2 位のファミリーマートでビジョン、戦略において違いはあるのか？他業種でNo.1とNo.2を比較し、共通点や業界による差異(強み、差別化、戦略等)を見つけ出し類型化。
- ii) 「日本企業の海外戦略」 例:化粧品業界の日本企業(資生堂、KOSE など)がどういう戦略でどの地域にどのような売り方で進出していくのか。日本の型(デパート1階のイメージ)を輸出するのか、現地に合わせた売り方にするのか。
- iii) 「企業の社会貢献活動、CSR」 例:どのような目的でどのような理念でおこなっているのかを類型化する。

③探究に使える経済学的手法 例:テーマ「日本型幸福度指数を構築するには？」

- i) GNH(国民総幸福量);GDPだけでなく、「健康」「教育」「環境」「社会関係」など複数の次元(ドメイン)を設定し、統合する手法
- ii) 潜在能力アプローチ;「何を持っているか」ではなく「何ができるか(選択の自由があるか)」を測る手法で、格差問題を考える際に有効
- iii) 主観的ウェルビーイング(SWB)測定;「人生の満足度」を 0～10 点で答えてもらうアンケート手法